

年	組	名前
---	---	----

昼休みに多くの生徒が図書館を利用＝別府市の朝日中学校



# 本の貸出数 1.5倍に

## 別府市 授業で図書館利用進む 公立中

別府市内の公立中学校（8校）で学校図書の貸し出しが増えている。全校に司書を常勤配置した2014年度の貸出総数は13年度の約1.5倍となった。市教委は読書環境が充実したことに加え、司書と教員が連携して授業で図書館を利用する動きが進んだ効果とみている。

## 関心持つ生徒増加

13年度の貸し出しは約2万7200冊だった。14年度は3万9500冊に増えた。1人当たりの年間貸出数も10・1冊から14・6冊となった。

各学校では司書と教員の連携も始まった。朝日中では、授業を図書館内の学習スペースでする回数を増やした。国語の授業では司書が読んでほしい本を生徒に紹介したり、理科の調べ学習でも図書館を使っている。生徒の活動も活発で、図書委員会が貸出冊数の多い生徒やクラスの表彰を始めた。図書委員長の此元廉登君（3年）も「本に関心を持つ生徒が増えているようだ」と実感している。

他の学校でも各教室に台車で本を運ぶ「移動図書館」や授業内容に合った本を積極的に紹介し、朝日中司書の石美香さんは「生徒の読み解く力を高めるため、研修などを通して司書同士の情報共有を進めている」と説明する。

市教委によると、市内の小中学校では07年度に司書7人を配置。現在は2校に1人の割合で司書がいる小学校の貸し出しも増えている。学校教育課は「読書は全教科で必要な読解力、課題を解決する能力を高めるのに有効。司書と教員のつながりを深め、調べ学習をさらに充実させたい」としている。

(2015年6月18日朝刊15面)

別府市内の公立中学校で学校図書の貸し出しが増えています。

①別府市内の公立中学校の貸出総数は、14年度は13年度より何冊増えたでしょう。

.....

.....

.....

.....

②14年度の1人当たり年間貸出数をあなたのクラスに当てはめると、クラスの年間貸出総数は何冊でしょう。

.....

.....

.....

.....

③あなたの好きな図書は何ですか。理由を付けて、発表しよう。

.....

.....

.....

.....